

1355

陸軍

昭和十二年軍備改裝要領細則ノ件

關係陸軍諸部隊へ達案 (陸密)

(別紙ノ通)

十二年分 陸密第五六一號 昭和十二年六月十四日

1356

祕
規則適用

軍令陸乙第
號

昭和十二年軍備改變要領

紙數
附表

枚
枚

昭和十二年六月十四日陸軍省調製

1357

昭和十二年軍備改變要領制定ノ件

朕昭和十二年軍備改變要領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

昭和十二年六月十四日

陸軍大臣 杉 山 元

陸 軍

軍令陸乙第 號

昭和十二年軍備改變要領

第一條 本要領ハ陸軍平時編制ノ改正ニ伴フ航空部隊ノ新設、廢止、編制改正、稱號變更、轉營並陸軍士官學校分校ノ新設等ニ關スル事項ヲ定ム

第二條 新設、廢止、編制改正、稱號變更及轉營ヲ爲ス部隊左ノ如シ

一 新設スルモノ

飛行第六十五戰隊

第一乃至第五飛行教育隊

東京陸軍航空學校

陸軍士官學校分校

二 廢止スルモノ

所澤陸軍飛行學校

三 編制ヲ改正スルモノ

航空兵團司令部

第一乃至第三飛行團司令部

陸軍航空本部

陸軍航空技術研究所

陸軍航空廠

熊谷陸軍飛行學校

四 稱號ヲ變更シ編制ヲ改正スルモノ

新 稱 號

舊 稱 號

飛行第一乃至第九第十三第十四戰

飛行第一乃至第九第十三第十四戰

隊 隊

五 他ノ衛戍地ニ轉營スルモノ

飛行第五戰隊

立川ヨリ柏ヘ

第三條 各部隊ノ新設廢止編制改正稱號變更轉營等ノ實施ハ附表第一乃至第九著

手順序表ニ據ル但シ準備業務ニ必要ナルモノハ其ノ以前ニ著手スルコトヲ得

第四條 本要領第二條ノ四ニ掲クル諸部隊ノ稱號變更實施期日ハ昭和十三年九月

一日トス

第五條 既設部隊ノ人員ハ之ヲ新設又ハ編制改正部隊ニ轉屬スルコトヲ得

第六條 部隊ノ編制改正管理官ハ當該所管長官トス但シ著手順序表ニ於テ特ニ管理官ヲ示シタルモノハ此ノ限ニアラス

第七條 新設部隊ノ位置及新設管理官ハ附表第十ノ如シ

第八條 本要領ニ依ル部隊改變ノ爲生スル缺員ハ一時編制上ノ定員ヲ缺キ又之カ爲生スル過員ハ一時當該部隊ノ定員外トス

前項ノ缺員ハ逐次之ヲ補填シ過員ハ陸軍大臣、參謀總長協議シ逐次之ヲ整理スルコトヲ得

第九條 昭和十二年徵集兵ヨリ二期入營トシ入營後速ニ飛行教育隊ニ分遣シ教育終了後原隊ニ復歸セシムルモノトス

第十條 將校各部將校及文官ノ配屬ハ辭令ヲ以テス但シ第二條ニ依リ稱號ヲ變更セル部隊竝建制ヲ以テ轉屬セル部隊ノ職員ニシテ別ニ命課セラレサルトキハ辭令ヲ用フルコトナク新稱號又ハ新所屬部隊ノ相當職員ニ命課セラレタルモノトス

軍備改變ノ結果過員トナリタル者ニシテ別ニ命課セラレサルトキハ辭令ヲ用フルコトナク當該部隊ノ定員外ニ命課セラレタルモノトス

第十一條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項及特別ノ關係ニ依リ本要領ニ據ル能ハサル事項ハ陸軍大臣、參謀總長及教育總監協議決定ス

附 則

第十二條 本要領實施ノ爲所要ノ人員ハ陸軍大臣ニ於テ新設又ハ編制改正著手前關係部隊ニ定員外トシテ豫メ之ヲ配屬スルコトヲ得

第十三條 昭和十年軍令陸乙第三號、昭和十年軍備改變要領附表第八(第十七)中昭和十三年及昭和十四年ノ欄ヲ削リ備考第八(第三)號トシテ左ノ一號ヲ加フ

昭和十三年一月以降ニ於ケル著手順序ハ昭和十二年軍令陸乙第 號、昭和十二年軍備改變要領ニ據ル

昭和十一年軍令陸乙第十九號、昭和十一年軍備改變要領附表第十六中昭和十三年及昭和十四年ノ欄ヲ削リ同表備考ニ左ノ一號ヲ加フ

(三)昭和十三年一月以降ニ於ケル著手順序ハ昭和十二年軍令陸乙第 號、昭和十二年軍備改變要領ニ據ル

附 表 目 次

名 稱	附 表 番 號
航空兵團司令部編制改正著手順序表	一
第一飛行團新設及編制改正著手順序表	二
第二飛行團新設及編制改正著手順序表	三
第三飛行團新設及編制改正著手順序表	四
航空兵團直轄飛行部隊新設及編制改正著手順序表	五
陸軍航空本部編制改正著手順序表	六
陸軍航空技術研究所編制改正著手順序表	七
陸軍航空廠編制改正著手順序表	八
陸軍士官學校分校及陸軍航空本部所管諸學校新設(廢止)及編制改正著手順序表	九
新設部隊ノ位置及新設管理官一覽表	十

セ

附表第一

航空兵團司令部		官 理 管		航空兵團司令部編制改正著手順序表	
		改 編 部 隊			
同		隊 部 任 擔			
同		上			
新編制ノ大部人員増	八	昭 和 十 二 年	著 手		
	月 十 二 月				
同	八	昭 和 十 三 年	順 序		
	月 十 二 月				

七ノ二

第一飛行團新設及編制改正著手順序表

官理管	新設及 改編部隊	任務	著手順序		人員増	備考
			昭和十二年 十二月	昭和十二年 一月		
第一飛行團司令部	同	同上			人員増	既設戰團二中队ヲ飛行第二十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
飛行第一戰隊	同上	同上				既設戰團二中队ヲ飛行第二十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
飛行第二戰隊	同上	同上				既設戰團二中队ヲ飛行第二十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
飛行第三戰隊	同上	同上				既設戰團二中队ヲ飛行第三十一戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
飛行第七戰隊	同上	同上				既設戰團二中队ヲ飛行第六十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
飛行第十三戰隊	同上	同上				既設戰團二中队ヲ飛行第六十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成
第一飛行教育隊	同上	新編制ノ全部				既設戰團二中队ヲ飛行第六十四戰隊ニ 改編シ左ノ如ク編成 聯隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 飛行第一中队ヲ軍偵察一中隊ニ改編シ飛 行第一中队ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成 司令部偵察一中隊ヲ改稱シ左ノ如ク編成

備考

(一) 昭和十三年九月及同年十二月各隊ハ本表ニ示ス中隊大部ノ編成ヲ終リ昭和十四年以降ニ於テ之ヲ完結スルモノトス

(二) 昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム

(三) 修業兵ハ飛行教育隊ニ於ケル教育終了迄原隊各中隊ノ定員ヨリ之ヲ缺キ聯(戰)隊ニ配屬スルモノトス

(四) 昭和十二年十二月各飛行聯隊ハ修業兵分遣後ニ於ケル隊務ニ支障ナカシムル爲各中隊ヲ通シ昭和十一年徵集兵ノ人員ヲ彼此融通スルコトヲ得

(五) 昭和十三年九月轉出セシムヘキ部隊ハ昭和十一年徵集兵及昭和十二年前期徵集兵ヲ基幹トスルモノトス

(六) 昭和十三年十二月新設スヘキ部隊ノ兵要員ノ大部ハ昭和十二年徵集兵ヲ以テ之ニ充ツ之カ爲所要人員ヲ昭和十三年一月及七月徵集兵又該部隊幹部要員ノ一部ハ同年八月ヨリ擔任部隊ノ定員外トシテ之ヲ増加スルコトヲ得

(七) 飛行第一聯隊第四中隊ハ昭和十一年軍令陸乙第三號昭和十一年軍備改變要領附表第八ニ據ルコトナク本表備考第四號ニ據リ昭和十二年十二月共ノ大部ヲ編成スルコトヲ得

(八) 昭和十一年軍令陸乙第三號昭和十一年軍備改變要領附表第十七中濱松陸軍飛行學校ノ行昭和十三年及昭和十四年ノ欄ヲ削ル

(九) 昭和十二年八月ヨリ同年十二月迄第一飛行團司令部ニ定員外トシテ第一飛行教育隊要員タルヘキ中(少)佐一名、大尉一名及曹長(軍曹)二名ヲ増加スルコトヲ得

第三飛行團新設及編制改正著手順序表

考 備	官 令 司 團 兵 空 航				官 理 管	
	第三飛行教育隊	飛行第十四戰隊	飛行第八戰隊	第三飛行團司令部	新設及改編部隊	隊 部 任 擔
(一) 昭和十三年九月各隊ハ本表ニ示ス中隊大部ノ編成ヲ終リ昭和十四年以降ニ於テ之ヲ完結スルモノトス (二) 昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム (三) 修業兵ハ飛行教育隊ニ於ケル教育終了迄原隊各中隊ノ定員ヨリ之ヲ缺キ聯(戰)隊ニ配屬スルモノトス (四) 昭和十二年十二月各飛行聯隊ハ修業兵分遣後ニ於ケル隊務ニ支障ナカラシムル爲各中隊ヲ通シ昭和十一年徵集兵ノ人員ヲ彼此融 通スルコトヲ得 (五) 昭和十二年八月ヨリ同年十二月迄第三飛行團司令部ニ定員外トシテ第三飛行教育隊要員タルヘキ中(少)佐一名、大尉一名及曹長 (軍曹)二名ヲ増加スルコトヲ得	同上	同上	同上	同上	昭和十二年 十二月	著 手 順 序
	新編制ノ大部	修業兵ノ大部		人員増	昭 和 十 三 年 一 月 八 月 九 月	月 月 月
	聯隊ヲ戰隊ト改稱シ左ノ如ク編成 飛行場大隊 整備一中隊	聯隊ヲ戰隊ト改稱シ左ノ如ク編成 飛行場大隊 整備一中隊	聯隊ヲ戰隊ト改稱シ左ノ如ク編成 飛行場大隊 整備一中隊	人員ノ殘部		

航空兵團直轄飛行部隊新設及編制改正著手順序表

備	官 命 司 團 兵 空 航			官 理 管	
		飛行第五戰隊	飛行第四戰隊	飛行第五戰隊	新設及改編部隊
	同	同	同	上	上
	第四飛行教育隊	第五飛行教育隊	同	上	上
	同	同	同	上	上
	新編制ノ大部	新編制ノ大部	輕爆一中隊新設	昭和十三年九月	昭和十三年十月
	新編制ノ大部	新編制ノ大部	輕爆一中隊新設	昭和十三年九月	昭和十三年十月

(一)昭和十三年九月及同年十二月各隊ハ本表ニ示ス中隊大部ノ編成ヲ終リ昭和十四年以降ニ於テ之ヲ完結スルモノトス
 (二)昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム
 (三)第四及第五飛行教育隊新設迄飛行第五及第四聯(戰)隊長ハ自隊ノ修業兵教育ノ爲當該部隊ノ編制定員内ノ人員ヲ以テ臨時ニ教育隊ヲ編成シ教育ヲ行フコトヲ得

考

- 前項ノ教育期間修業兵ハ各中隊ノ定員ヨリ之ヲ缺キ聯(戰)隊ニ配屬スルモノトス
- (四)昭和十二年十二月各飛行聯隊ハ各中隊ヲ通シ昭和十一年徵集兵ノ人員ヲ彼此融通スルコトヲ得
- (五)昭和十三年十二月新設スヘキ部隊ノ兵要員ノ大部ハ昭和十二年徵集兵ヲ以テ之ニ充ツ之カ爲所要人員ヲ昭和十三年一月及七月徵集ス又該部隊幹部要員ノ一部ハ同年八月ヨリ擔任部隊ノ定員外トシテ之ヲ増加スルコトヲ得
- (六)昭和十三年八月ヨリ同年十二月迄飛行第五聯(戰)隊及第四聯(戰)隊ニ定員外トシテ第四及第五飛行教育隊要員タルヘキ中(少)佐各一名、大尉各一名及曹長(軍曹)各二名ヲ増加スルコトヲ得

1370

附表第六

陸軍航空本部長		管理官		陸軍航空本部編制改正著手順序表	
陸軍航空本部		改編部隊			
同上		隊部任擔			
新編制ノ大部		八	昭		著手
人員増		月	和		
同上		十	十		順序
人員ノ殘部		二	二		
同上		月	年		
同上		八	昭		
同上		月	和		
同上		十	十		
同上		二	三		
同上		月	年		

七ノ七

1481

附表第七

考 備 (一)昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム	陸軍航空本部長	管理官	陸軍航空技術研究所編制改正著手順序表		
	陸軍航空技術研究所	改編部隊			
	同上	隊部在籍			
	新編制ノ大部人員増同	八 月 十 二 月	昭 和 十 二 年	著 手 順	序
	同上	八 月 十 二 月	昭 和 十 三 年		
	同上	八 月 十 二 月	昭 和 十 三 年		

七ノ八

陸軍航空廠編制改正著手順序表

考備	陸軍航空廠						官理管		
	屏東支廠	平壤支廠	大刀洗支廠	各務原支廠	立川支廠	本廠	新設及改編部隊		
(一)昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム	同上	同上	同上	同上	同上	同上	隊部任擔		
						新編制ノ大部	昭和十二年八月	昭和十三年九月	昭和十三年十一月
		支廠ノ人員増		支廠ノ人員増	支廠ノ人員増	人員増			
	支廠ノ人員増	同上		同上	同上	同上	八月		
	嘉義分廠ノ大部	會寧分廠ノ大部		濱松、八日市、加吉川分廠ノ大部	柏分廠ノ大部		九月		
	支廠ノ人員増		支廠ノ一部		支廠ノ人員増	人員ノ殘部	十一月		

考 備	陸軍航空本部			陸軍士官學校分校	教育總監		管理官	
	東京陸軍航空學校	熊谷陸軍飛行學校	(所澤陸軍飛行學校)	陸軍士官學校分校	新設(廢止)及改編部隊		隊 部 任 務	
	同 上	同 上	同 上	同 上	昭 和 十 二 年		手 順	
(一)昭和十四年以降ニ於ケル著手順序ハ別ニ之ヲ定ム (二)必要ニ應ジ生徒及學生ノ増減時期ハ若干之ヲ變更スルコトヲ得 (三)昭和十二年十月以降當分ノ内熊谷陸軍飛行學校ニ特種學生ヲ置き定員外トシテ所要ノ教育要員ヲ増加スルコトヲ得		新編成ノ大部	人員全部減	新編制ノ大部 生徒ノ一部	十月	昭 和 十 二 年		
	新編制ノ大部	人員増		人員生徒増	十二月			
		同 上		人員増	三月	昭 和		
	生徒ノ半部	生徒増		生徒増	四月	和		
	人員ノ殘部	人員増		人員増	八月	十		
	生徒ノ半部	生徒増			十月	三		
		人員増		人員生徒増	十二月	年		

陸軍士官學校分校及陸軍航空本部所管諸學校新設(廢止)及編制改正著手順序表

1374

附表第十

新設部隊ノ位置及新設管理官一覽表							
新設部隊	位置	新設管理官					
飛行第六十五隊	咸興	航空兵團司令部官					
第一飛行教育隊	各務原						
第二飛行教育隊	平壤						
第三飛行教育隊	嘉義						
第四飛行教育隊	立川						
第五飛行教育隊	大洗						
陸軍士官學校分校	豊岡						
東京陸軍航空學校	東京		陸軍航空本部長				

七ノ二

1375

祕

規則適用

陸密第 號

昭和十二年軍備改變要領細則

紙數
附表

枚 枚

昭和十二年六月十四日陸軍省調製

陸密第 號

昭和十二年軍備改變要領細則ノ件達

昭和十二年軍備改變要領細則左ノ通定ム

昭和十二年六月十四日

關係陸軍部隊

陸軍大臣 杉 山 元

昭和十二年軍備改變要領細則

第一章 總 則

第一條 昭和十二年軍令陸乙第

號昭和十二年軍備改變要領

以下要領ト略稱ス

ニ關スル細

部ノ事項ハ特ニ規定アルモノノ外本細則ニ據ル

第二條

本細則ノ實施完了セハ

著手順序ヲ有スルモノハ主要時期毎ニ

管理官ハ實施ノ概況ヲ陸軍大臣及參

謀總長ニ報告(通牒)スルモノトス

第二章 御眞影、勅諭、勅語

第三條

新設部隊其ノ他ノ爲御眞影、勅諭及勅語ノ奉戴又ハ奉還ニ關シテハ所管長

官ヨリ陸軍大臣ニ上申(照會)スルモノトス

第四條

要領第二條ノ四ニ掲クル舊稱號部隊ノ御眞影、勅諭及勅語ハ其ノ儘一時之

ヲ各當該新稱號部隊ニ奉安シ所管長官ヨリ速ニ陸軍大臣ニ繼承奉戴方上申スル

モノトス

第三章 人 員

第五條

要領附表第一乃至第九著手順序表ニ示ス各部隊人員ノ増減ハ左記ノモノ

ハ外別ニ之ヲ定ム

新設及編制改正部隊

航空兵團司令部

陸軍航空本部

陸軍航空技術研究所

陸軍航空本廠

陸軍士官學校分校

熊谷陸軍飛行學校

著手順序區分表

附表第一

附表第六

附表第七

附表第八其一

附表第九其一

附表第九其二

第六條 部隊ノ新設編制改正及二期入營ニ轉換ノ爲各期ニ於ケル入營人員ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 部隊ノ新設又ハ編制改正ノ爲准士官下士官及兵要員ノ轉屬區分及補充ノ

細部ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

部隊ノ新設及改編擔任部隊長ハ當該部隊内ニ於テ一時所要ノ人員ヲ轉屬スルコ

トヲ得

第八條 要領第二條ノ四ニ掲ケル各聯隊所屬ノ幹部候補生ハ各當該戰隊ニ轉屬ス

ルモノトス

前項各聯隊ニ現ニ召集中ノ者及更ニ召集スヘキ者ノ教育及召集部隊ハ各當該戰隊トス

第九條 陸軍諸學校教育隊

之ニ準スルモノヲ含ム

分遣下士官及兵並諸學校分遣喇叭手及派遣衛

生兵ノ分遣並派遣區分ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第十條 要領第十條第二項ニ依リ定員外トナリタル將校各部將校及文官ハ其ノ職官氏名ヲ當該管理官ヨリ陸軍大臣ニ報告通牒スルモノトス

第十一條 建制ヲ以テ他部隊ニ轉屬セシムヘキ部隊ノ將校各部將校及文官ハ所管長官ヨリ其ノ職官氏名ヲ豫メ陸軍大臣ニ報告シ且轉入部隊ノ所管長官ニ通報スルモノトス

第四章 兵器

第十二條 部隊保管兵器ノ定數ハ兵器定數表ニ據ル又年度動員計畫上貯藏スヘキ兵器ハ其ノ指定ニ依リ保管スルモノトス

第十三條

新設部隊ニ要スル兵器ハ逐次陸軍航空廠航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ヨリ之ヲ支給ス但

シ陸軍士官學校分校所要兵器ハ現在所澤陸軍飛行學校及陸軍士官學校ニ保管ノ

モノヲ以テ充當シ其ノ過不足ハ第十四條及第十五條ニ據ル手續ヲ行フモノトス

第十四條 編制改正及稱號變更ヲ行フ部隊ニ要スル兵器ハ兵器定數表ニ據リ整理

シ不足兵器ハ逐次陸軍航空廠航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ヨリ之ヲ支給シ過剩兵器ハ陸軍航空廠

航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ニ返納スルモノトス

第十五條 著手順序區分表ニ據リ逐次編制改正ヲ行フ部隊ノ不足兵器ハ其ノ都度

陸軍航空廠航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ヨリ之ヲ支給シ過剩兵器ハ陸軍航空廠航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ニ返納

スルモノトス但シ航空兵器ノ不足ハ一時代用品ヲ以テ充當シ又ハ其ノ一部ヲ缺數ト爲スコトヲ得

第十六條 建制ヲ以テ轉屬スヘキ部隊ハ當該部隊ノ爲兵器表所定平時保管ノ兵器

ヲ携行シ第十四條ニ準シ新衛戍地ニ於テ整理スルモノトス

第十七條 保管定數以外ニ保管シアル兵器ニシテ特ニ引當ナキモノハ先ツ編成所

要ノモノニ充當シ其ノ殘餘兵器ノ保管ニ關シテハ改メテ申請認可ヲ受クルモノトス

第十八條 前諸條支給返納兵器並携行兵器ニハ兵器制式圖兵器細目名稱表兵器定

價表、兵器取扱法、兵器ニ關スル諸規則類及兵器ノ永久ニ關スル書類、定數外兵器ヲ
含ムモノトス

第十九條 前條ニ依リ返納シタル圖書類中不用ノモノハ陸軍航空廠ヨリ順序ヲ經
テ陸軍航空本部ニ返納スルモノトス但シ航空兵器以外ニ在リテハ陸軍兵器廠ヲ
經テ陸軍省ニ返納スルモノトス

第二十條 前諸條ニ依ル航空兵器ノ移動ニ關シテハ陸軍大臣ニ於テ航空兵器移動
實施要領ヲ定メ之ヲ管理官ニ指示スルモノトス

第二十一條 陸軍諸學校ニ分遣中ノ兵ニシテ他部隊ノ要員ニ充當セラレタル者ノ
分遣ノ際ニ於ケル携行兵器ハ其ノ儘之ヲ當該部隊ニ引繼キ原所屬部隊ニ於テ不
足トシテ整理スルモノトス

第二十二條 返納兵器航空兵器ヲ除クハ舊保管部隊ニ於テ別ニ定ムル様式ニ據リ兵器返納
品目員數表ヲ調製シ副本二通ヲ順序ヲ經テ陸軍兵器本廠ニ送付スルモノトス
陸軍兵器本廠長ハ各部隊ノ其類各一通ヲ取纏メ且返納兵器ノ處分案ヲ具シ陸軍
大臣ニ報告スルモノトス

第五章 被服

第二十三條、本章ニ於テ被服ト稱スル中ニハ縫靴工具補修材料及被服ニ屬スル委任經理雜品ヲ含ムモノトス

第二十四條、新設部隊及編制改正ニ依リ定員ヲ増加スル部隊ニハ著手順序ニ基キ左ノ各號ニ據リ初度被服現品ヲ交付ス

一 下士官兵被服及特種被服ハ營内居住下士官以下ノ增加人員ニ對シ陸軍給與令細則臺灣駐劄陸軍部隊給與規則細則及朝鮮滿洲駐劄陸軍部隊給與令細則ニ定ムル員數但シ第二十八條及第二十九條ニ依ル携行被服並引繼被服ハ之ヲ控除スルモノトス

二 寢具ハ左ノ區分ニ據ル

イ 軍隊ニ在リテハ營内居住下士官兵ノ增加人員ニ對スル員數

ロ 諸學校教育隊之ニ準スルモノヲ含ムニ在リテハ營内居住下士官兵及生徒ノ增加人員ニ對スル員數

三 備付被服寢具ヲ除クノ員數ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第二十五條、前條ニ規定スルノ外新設部隊及編制改正ニ依リ定員ヲ増加スル部隊ニハ必要ニ應シ古品被服ヲ交付スルコトアルヘシ

前項ノ品目員數及交付方ハ別ニ之ヲ示ス

第二十六條 要領第二條ノ四ニ掲クル各聯隊ノ戰用被服及常用被服ハ各當該戰隊

ニ引繼クモノトス

第二十七條 新設部隊所要ノ縫靴工具修理器
械共ハ新設擔任部隊長ヨリ順序ヲ經テ陸軍

大臣ニ申請スルモノトス

第二十八條 編制改正ノ爲營内居住下士官兵其ノ所屬ヲ轉スル場合ハ軍隊經理規

程附表第五所定ノ時服一揃(所持品中
最新品)ヲ著裝携行セシムルモノトス

第二十九條 所澤陸軍飛行學校ニ屬スル被服ハ廢止ニ方リ熊谷陸軍飛行學校ニ引

繼クモノトス

第三十條 新設部隊ニ對スル被服費ハ著手順序ニ基キ當該年度ノ年額ヲ月割額ヲ

以テ交付ス

第三十一條 編制改正ノ爲定員ニ増減アル部隊ノ被服費定額ハ著手順序ニ據リ増

減人員及其ノ月數ニ應シ月割額ヲ以テ増減スルモノトス

第六章 糧 秣

第三十二條 要領第二條ノ四ニ掲クル各戰隊ハ各當該聯隊ヨリ其ノ保管ニ係ル戰

用糧秣ノ引繼ヲ受クルモノトス常用糧秣ニ就テモ亦同シ

第三十三條 新設部隊ニ對シテハ營内居住下士官以下ノ人員ニ應シ著手順序ニ從

ヒ平時給與ノ補足トシテ罐詰肉一人宛三七五匁ヲ交付ス之カ爲生スル糧食費ノ

剩餘ハ委任經理積立金ニ組入ルルモノトス

前項ノ罐詰肉ハ所管經理部ノ請求ニ應シ陸軍糧秣本廠ヨリ當該部隊ニ交付ス但

シ其ノ輸送費ハ當該部隊委任經理ノ負擔トス

第三十四條 他ノ衛戍地屯在部隊ニ轉屬スル部隊及他ノ衛戍地ニ轉營スル部隊ノ

給養ハ舊衛戍地出發迄現在地ノ賄料定額及糧秣指定相場ニ據ルモノトス

第三十五條 第三十二條ニ依リ處理シタル戰用糧秣ニ就テハ管理官ヨリ處理後二

箇月以内ニ陸軍大臣ニ報告(通牒)スルモノトス

第七章 器具材料

第三十六條 要領第二條ノ四ニ掲タル各聯隊ノ貯藏ニ係ル戰時公用行李甲同乙

入組
品共 ハ之ヲ各當該戰隊ニ引繼クモノトス

第三十七條 新設及編制改正部隊ノ陣營具備付標準表ハ別ニ之ヲ定ム

第三十八條 要領第二條ノ四ニ掲タル各聯隊ノ廳中具陣營具及消耗品ハ之ヲ各當

該戰隊ニ引繼クモノトス

第三十九條 轉營部隊ハ其ノ轉營ニ方リ携行スルヲ不利トスルモノハ之ヲ殘置スルコトヲ得

第四十條 前二條ニ依リ處理シタル後管理官ハ部隊ノ新設及編制改正ニ伴フ廳中具、陣營具及消耗品ノ過不足ヲ當該所管内ヲ通シテ整理スルモノトス但シ保管轉換ヲ不利トスルモノニ在リテハ此ノ限ニアラス

前項ノ整理ノ爲ニ要スル經費並整理ノ結果生シタル過不足ハ其ノ品種、數量、程度區分及部隊別ヲ成ルヘク速ニ陸軍大臣ニ報告(通牒)スルモノトス

第四十一條 普通物品及委任經理物品ニシテ別ニ規定ナキモノノ處理ニ關シテハ第三十八乃至第四十條ヲ準用スルモノトス但シ練習用具ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第八章 衛生材料

第四十二條 新設又ハ編制改正部隊ノ備付衛生材料ノ定數ハ別ニ之ヲ定ム但シ要領第二條ノ四ニ掲クル各聯隊保管ノ衛生材料ハ之ヲ當該各戰隊ニ引繼クモノトス

第四十三條 部隊ノ新設又ハ編制改正ニ伴フ不足衛生材料ハ所管内ノ過剩品ヲ充

當シ尙不足スル器械ハ成ルヘク速ニ之ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第四十四條 前條ノ不足衛生材料(器械)ハ陸軍衛生材料廠ヨリ交付シ又ハ所管外ノ過剩品ヲ保管轉換ス

第四十五條 新設又ハ編制改正部隊ノ戰用衛生材料ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第九章 土地建造物

第四十六條 新設又ハ編制改正部隊ニシテ既設建造物ヲ充當スルモノ概ネ左ノ如シ

第四飛行教育隊

飛行第五聯隊ノ一部

陸軍士官學校分校ノ一部

所澤陸軍飛行學校ノ一部

第四十七條 新設又ハ編制改正部隊ノ爲土地ノ編入若ハ建造物ノ新增築又ハ補修ノ必要アルモノハ別ニ建築擔任者ニ之ヲ指示ス

前項ノ外所要ノ建造物ハ努メテ在來ノモノヲ其ノ儘利用スルモノトス

第四十八條 轉營及編制改正ノ爲不用トナルヘキ土地建造物ハ陸軍省所管國有財産取扱規程第四十二條ニ依リ原管轄者ニ返還スルモノトス但シ一部不用トナル

場合ニ於ケル返還ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第四十九條 要領實施ノ爲管轄區分ヲ變更スル土地建造物ハ特ニ示スモノノ外臺帳圖面其ノ他關係圖書一切ヲ舊管轄者ヨリ新管轄者ニ引繼クモノトス
前項ノ引繼ハ特ニ示スモノノ外概ネ轉營新設等ノ時期ニ於テ新舊管轄者協議ノ上實施スルモノトス

第五十條 第四十六及第四十七條其ノ他要領實施ニ伴フ國有財産ノ用途變更ニ就テハ別ニ之ヲ定ム

管轄者ノ變更ヲ要スル土地建造物ノ用途變更ハ新管轄者ニ於テ之ヲ行フモノトス

第五十一條 管轄者ハ返還又ハ引繼ヲ受ケタル土地建造物中其ノ監視ヲ最寄部隊ニ委託シ難キ場合ニ於テハ臨時監視人ヲ雇傭シ監視スルモノトス

第五十二條 新設轉營又ハ編制改正部隊ノ爲配當セラレタル土地建造物ヲ使用シ不足ヲ生スルトキハ管理官ノ定ムル所ニ依リ工事ノ竣工迄最寄部隊等ノ土地建造物ヲ使用スルモノトス但シ他ノ所管ノ土地建造物ヲ使用スル場合ニ於テハ關係所管長官ト協議スルモノトス

第五十三條 要領實施ニ伴ヒ所要官(符)舎ニシテ官等相當ノモノニ過不足アル場合ニハ適宜階級ヲ繰上ケ(繰下ケ)貸與スルコトヲ得

第十章 委任經理積立金等

第五十四條 要領第二條ノ四ニ掲ケル各戰隊ハ各當該聯隊ニ屬スル委任經理積立金ノ引繼ヲ受クルモノトス

第五十五條 陸軍士官學校分校ニ對シテハ所管長官ノ定ムル所ニ依リ陸軍士官學校ノ委任經理積立金ヲ分割交付スルモノトス

第五十六條 所澤陸軍飛行學校ニ屬スル委任經理積立金ハ所管長官ノ定ムル所ニ依リ陸軍士官學校分校及熊谷陸軍飛行學校ニ引繼クモノトス

第五十七條 前二條ニ依リ處理シタル委任經理積立金ニ就テハ管理官ヨリ陸軍大臣ニ報告(通牒)スルモノトス

第五十八條 所澤陸軍飛行學校ニ屬スル共有金及共有金支辨ニ係ル物品ハ所管長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ大部ヲ陸軍士官學校分校ニ其ノ一部ヲ熊谷陸軍飛行學校ニ引繼クモノトス

第十一章 經費

第五十九條 部隊ノ新設編制改正及轉營等ニ伴フ所要經費ハ別ニ定ムル科目區分ニ從ヒ令達豫算ニテ支辨シ令達豫算ニテ支辨シ難キモノハ其ノ算出内譯書及事由ヲ詳具シ當該管理官ヨリ成ルヘク速ニ陸軍大臣ニ増額上申(照會)ノ手續ヲ爲スモノトス

1390

附設第一

航空兵團司令部編制改正著手順序區分表

階級	年	月	少將	少佐	大佐	大(中)	中佐	中(少)	少佐	尉官	准士官、下士官	主計少將(大佐)	主計中(少)	主計少佐(大尉)	主計尉官	主計准尉	主計下士官	縫工下士官	裁工下士官	
			將	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	官	官	佐	佐	尉	尉	官	官	官	官
	昭和十二年	八月	一	一	一	一	一	一	一	一	六	一	一	二	一	一	四			
	昭和十二年	十二月									六									
	昭和十三年	八月												二	一					
	昭和十三年	十二月																		

八ノ一

考 備	技 手	技 師	技 術 尉	衛 生 下 士 官	軍 口 少 佐 (大 尉)	軍 口 中 (少) 佐 (大 尉)	軍 口 中 (少) 佐	軍 口 少 將 (大 佐)
(一) 陸軍平時編制附表第二十九號備考第一號及第二號ノ人員ハ本表ノ增加人員中ニ包含シアリ 「丙」内ノ數ハ減ヲ示ス (二) 准士官、下士官、主計下士官、衛生下士官中ニハ判任文官(技手ヲ除ク)ヲ含ム (三)	「ケ」四	一	一	二		「ケ」一	一	一
	三		一					
			一					
	二							

2681

附表第六

陸軍航空本部編制改正著手順序區分表

階級	年	月	少將(大佐)	大佐	中佐(少)	中佐	少佐(大尉)	少佐	大尉	下士	主計少將	主計大佐	主計中佐	主計中(少)佐	主計少佐(大尉)	主計大尉	主計下士官	軍醫中(少)佐	
	昭和十二年	八月	三	二	三			七			一	二	二	一				二	一
	昭和十二年	十二月								一								一	
	昭和十三年	八月	一		三	一		七	八					二	一				
	昭和十三年	十二月																	

八ノ二

考 備		技	師
(一)	「」内ノ數ハ減ヲ示ス		二
(二)	昭和十三年八月ノ中(少)佐増員ノ内一名、主計中(少)佐増員ノ内一名及大尉減員ノ内一名ハ外國駐在監督官ト舊平時編制ニ依ル外國駐在官トノ増減ヲ示ス、	四	
(三)	本表ノ下士官ノ内ニハ判任文官(技手ヲ除ク)ヲ含ム		六
			四
			二

陸軍航空技術研究所編制改正著手順序區分表

考 備	階級																手									
	技師	技師	銃工下士官	火工下士官	藥劑少佐(大尉)	衛生下士官	軍醫大(中尉)	軍醫大尉	軍醫少佐(大尉)	軍醫中(少佐)	軍醫大(中佐)	主計下士官	主計大尉	主計少佐(大尉)	主計中(少佐)	下士官		准士官	尉官	佐官	少將(大佐)	少將	中將(少)	中將		
(一) 昭和十四年以降ニ於ケル著手順序區分ハ別ニ之ヲ定ム (二) 「丙」ノ數ハ減ラホス (三) 本表ノ下士官ノ内ニハ判任文官(技手ヲ除ク)ヲ含ム	三	二											〇													
	五	二	一	一												三	一									
	九	三																	四	七						
	五	三																								

1395

附録第八共一

陸軍航空廠本廠編制改正著手順序區分表

階級	分	職名																		
		中將	少將	大佐	大佐(中)	中佐	中佐(少)	少佐	少佐(大尉)	少佐	准尉	下士官	主計大佐	主計大佐(中)	主計中佐	主計中佐(少)	主計少佐	衛生下士官	技師	
昭和十二年八月		一	二	二	二			二				一	二	二	二	二				
昭和十二年十二月											三	二						一	一	
昭和十三年八月																			一	
昭和十三年十二月												五	一							

八ノ四

1396

備考

(一)(二)

「」内ノ数ハ誤ヲ示ス
本表ノ下士官ノ内ニハ判任文官(技手ヲ除ク)ヲ含ム

秘

陸軍省 第八八二號

參謀本部 參密第二五四號第

昭和十二年軍備改變要領、同細則ノ件照會

昭和十二年六月七日 參謀總長 載 仁 親

陸軍大臣 杉 山 元 股

鑒ニ各主管事項ニ就キ起案セシ首題ノ件別冊ノ通取纏メタルニ付
異存ナクハ昭和十二年軍備改變要領ニ在リテハ連署可仰 允裁、
同細則ニ在リテハ令達方取計ラハレ度照會ス



軍

秘

参謀本部 参密第二五〇四號第三

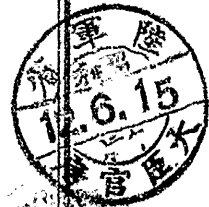
昭和十二年六月十四日

参謀總長 載 仁 親

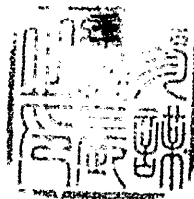
陸軍大臣 杉 山 元 殿

首題ノ件ニ關シ別冊ノ通御裁可相成リタルニ付通牒ス

追テ御裁可書ハ用濟後返戻相成度申添フ



陸軍



昭和十二年六月十五日

は裁可の書に返戻相成

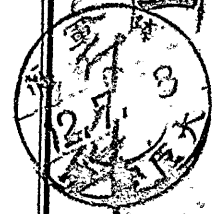
印刷

極秘

至急

卷第二八二號其二

陸軍省



第 號

陸軍

電報譯 七月七日午前後二時一分發

陸軍省副官宛 發信者

陸軍省參謀長

陸軍省一電第五四四號

昭和十二年一月軍備改竄要領細則附錄
至急發送しよ返

乙一

終



副官より閣下等参謀長へ電報書 林有造

閣下(電三四返)



略記 貴方は満洲府政務廳長に其の由御出向す事有矣

九月三日 御出向 奉 林有造

九月發送ノ見込



合中 昭示 昭和七年七月七日

陸海軍第四七號



閱

第十一師團 醫第六二九號
司令 部

軍備改變ニ伴フ不足衛生材料ノ件報告

昭和十二年七月十三日 第十一師團長 多田

陸軍大臣 杉山元殿

昭和十二年陸密第五六一號ヲ以テ昭和十一年軍備改變要領改正ニ伴
フ不足衛生材料別紙ノ通報告ス



生 第八二師其三



陸 軍



密 881. 288 883

關係陸軍部隊へ達案 (陸密)

(別紙)

陸密第一一四二號

昭和三年九月三十日
陸軍省陸軍部
-1400



陸密第

號

昭和十二年軍備改變要領細則中兵器衣糧及衛生材料定數表ノ件達

關係陸軍部隊

昭和十二年軍備改變要領細則中兵器衣糧及衛生材料ノ定數ヲ左ノ通定ム

昭和十二年九月三十日

陸軍大臣 杉 山 元

昭和十二年度陸軍士官學校分校兵器定數表 共一

品目	員數	
	員	數
三十二年式軍刀乙		六〇
三十年式銃劍		一六一
三八式步兵銃		一五〇
十四年式拳銃		三〇
十年式信號拳銃		二五
高射機關銃		八
三年式機關銃	空包銃身	八
	甲彈藥箱箇	一六
八九式固定機關銃	甲	五
	乙	五
八九式固定機關銃空包銃身		五
八九式旋回機關銃		二五
八九式旋回機關銃空包銃身		一一
十一年式輕機關銃		五
十一年式輕機關銃	空包銃身	五
	彈藥盒	四〇
	彈匣	二〇
	彈	三〇
	三脚架	三

例 自 備 車 車	五 二〇
<p style="text-align: right;">備</p> <p>一、屯營用自動車工長中平行萬力ハ三個ヲ充當スルモノトス 二、本表ノ外三十二年式軍刀甲乙、三十年式銃劍、三八式歩兵銃、小銃擬製彈及喇叭ヲ所要ニ應シ備付クルモノトス 三、六輪自動貨車ハ自動貨車ヲ以テ代用スルコトヲ得</p>	

航空器材																						
工用機具	機動發用外野								發動機用特種測器	點火栓檢定器	飛行機整備器具乙組	飛行機整備器具甲組	各種特機					飛行機				
	九三式双座練習機用組	九五式戰闘機用組	九二式戰闘機用組	九四式偵察機用組	九五式一型練習機用組	九五式二型練習機用組	九五式三型練習機用組	九五式偵察機用組					九二式偵察機用組	九四式偵察機用組	九二式偵察機用組	九五式一型練習機用組	九五式二型練習機用組	九五式三型練習機用組				
九五式二型練習機用組	九三式双座練習機用組	九五式戰闘機用組	九二式戰闘機用組	九四式偵察機用組	九五式一型練習機用組	九五式二型練習機用組	九五式三型練習機用組	九五式偵察機用組	九二式偵察機用組	九四式偵察機用組	九二式偵察機用組	九五式一型練習機用組	九五式二型練習機用組	九五式三型練習機用組	九五式偵察機用組	九五式二型練習機用組	九五式三型練習機用組					
二	一	二	三	三	二	六	一	六	一	六	八	四〇	九〇	一	三	五	五	三	四	四	一	四

五

航 空 機 械 理 器 材																						
二 〇 〇	二 五 〇	機 械 取 附 工 具				發 動 機	發 動 機 分 解 臺							發 電 機	工 場 用 發 動 機 工 具							
		九 五 式	九 二 式	九 一 式	九 四 式		九 三 式	九 五 式	九 二 式	九 一 式	九 四 式	九 三 式	九 五 式		九 二 式	九 一 式	九 四 式	九 五 式				
耗	自	戰	戰	偵	雙	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵	偵
在	在	開	開	察	輕	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察	察
螺	螺	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
絲	絲	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用	用
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組

器	材	修	空	航	名	種	單位	数
一	五〇〇耗自在螺鑰				一五〇耗自在螺鑰			七七
二	冠螺鑰				冠螺鑰			七八
三	組螺鑰				組螺鑰			六九
四	長螺				長螺			六一
五	圓				圓			六一
六	平				平			六二
七	割栓拔ペンチ				割栓拔ペンチ			八四
八	蟹爪ペンチ				蟹爪ペンチ			八四
九	線工器具				線工器具			一六
一〇	手用鑽孔機鑿				手用鑽孔機鑿			二二
一一	胸當鑽孔機鑿				胸當鑽孔機鑿			二二
一二	攜帶用電動鑽孔機鑿				攜帶用電動鑽孔機鑿			一六
一三	空氣彈筒				空氣彈筒			四
一四	鉛				鉛			三三
一五	セクターゲージ				セクターゲージ			三三
一六	酸素熔接器				酸素熔接器			四
一七	鍛著ラップ				鍛著ラップ			三七
一八	航空螺帽				航空螺帽			六
一九	鹽酸鍋				鹽酸鍋			一四
二〇	羽布用ミシン機械				羽布用ミシン機械			一

五

航 空 修 理 器 材

特種削鉋組	特種油鉋	圓形硝子切	三分一疋鎌鉋	特種盤陀鉋	プロペラ釣合試験器	プロペラ定盤	辨發條試験器	發電機及點火栓試験器	水壓試験器	野外用計測器試験器組	爆藥照準眼鏡試験器	爆彈投下機試験器	回轉計試験器	氣壓計試験器	水溫計試験器	速度計試験器	羅針盤試験器	壓力計試験器	輕比重計	手用回轉計	鋸着用具組	野外用熱處理器具組	工場用熱處理器具組
五一	四六	二	六一	四四	二	二	二	三	六	六	一	一	一	一	一	一	一	二	二	二	四	四	一

1419

備	材器機空航					材器機電空航					材器信通空航					區分名稱	單位			
	飛行	自記	自記	野外	作業	尾	發動機	野外用	野外用	電氣	充電	蓄電池	工場用	携帶	無線			無線	無線	無線
度計	度計	度計	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組	幕組
11	8	10	20	12	30	17	7	6	4	5	2	1	3	2	1	1	2	4	2	1

一、本表兵器ハ不制式品ヲ以テ代用スルコトヲ得
 二、本表ノ外定數外トシテ左記飛行機(所要關聯器材共)ヲ增加備附クルコトヲ得
 三、戰用ニモナル飛行機
 四、地上教育用飛行機

1421

材 器 工 木														材 器 工 土				區 分 名 稱	單 位	數			
中	荒	鑿	鑿	曲	五	呼	道	六	九	尺	尺	尺	尺	中	鍊	鉤	手				斧	大	經
					寸		透	寸	寸	一	三	一	三	山			斧				始	鐵	鐵
鋤	鉤		壺	尺	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸	鋸
九	一	四	四	五	二	五	七	二	二	六	二	四	六	六	五	六	二	二	八	二	五	二	六

五

木																								
工																								
器																								
材																								
四	六	二	四	六	四	六	八	一	二	四	六	右	左	八	一	一	直	右	左	荒	仕	一	仕	
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	
内	内	外	外	外	平	平	平	厚	厚	厚	厚	鉋	鉋	外	外	内	直	側	側	溝	溝	上	上	
圓	圓	圓	圓	圓	平	平	平	厚	厚	厚	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	鉋	
九	二	二	二	二	七	二四	二二	二二	二二	二四	二五	二四	一五	一五	二	二	二	二	二六	二六	二	三	二	九

材 器 工 木																區 分 名 稱	單 位	員 數				
六分圓刃螺錐	小通四目錐	大通四目錐	小通三目錐	大通三目錐	無木	木	小目立錐	大目立錐	目振	鐵挾	引	木工	小刀	紐形小刀	洋形釘	釘拔	牙植	鐵錐	小支翁	大支翁	一分押鑿	一寸四分押鑿
二	二四	七	二四	五	七	七	八	七	二	二	二	二五	二	二四	五	九	二八	二	二四	五	五	二

五

16291

品名	数量	単位	備註	通												油									
				信	器	材	照明	燃料	器材	加工	器具	材料	油	線	器具										
二	五	九	一	持	九	通	九	九	新	通	車	手	紙	大	小	九	九	油	線	三	工				
應	應	二	盤	續	三	信	二	二	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式
引	引	式	接	電	十	器	式	式	手	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	式	
上	上	微	帶	送	二	具	電	電	入	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	電	
線	滑	光	電	受	河	具	話	話	具	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	話	
車	車	燈	燈	信	津	箱	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	
車	車	燈	燈	信	津	箱	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	

1431

附表第十七共二

熊谷陸軍飛行學校ノ兵器ノ定數ハ航空要員教育要領附表兵器表ニ於テ別ニ之ヲ定ム

五

一四

考 備	除 目		部 品	
	分 校	陸 軍 士 官 學 校	航 空	被 服
一 本被服ノ交付時期ハ別ニ示ス	二 三 〇	二 三 七	帽	航 空
			種一第	巾 頭 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	面 空 航
			種一第	服 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	袋 手 空 航
			種一第	袋 手 スヤリメ 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	卷 襟 空 航
			種一第	靴 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	鏡 眼 空 航
			種一第	面 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	巾 頭 空 航 熱 電	被 服
			服 空 航 熱 電	被 服
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	袋 手 空 航 熱 電	被 服
			袋 足 空 航 熱 電	被 服
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	襪	被 服
			種一第	服 浮 空 航
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	具 浮 空 航
			種一第	帽 業 作 被 作 業
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	種 二 第 袴 衣 業 作
			種一第	帽 動 運 被 服
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	袴 衣 動 運 被 服
			種一第	帶 動 運 被 服
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	靴 動 運 被 服
			種一第	袋 手 用 轉 運 被 服
二 三 〇	二 三 〇	二 三 〇	種二第	鏡 眼 塵 防 被 服
			種一第	

被 服 交 付 表

一 本被服ノ交付時期ハ別ニ示ス
 二 三 〇 三 〇 六 二 〇 六 〇 三 八 〇 三 〇 三 八

備附衛生材料(器械)定数表

考 備	陸軍士官學校分校	衛生材料取扱規則第一表分類			
		甲	乙	丙	丁
一 本表ノ外熊谷陸軍飛行學校、陸軍士官學校分校ニハ自動呼吸器一具、航空救急薬二具、航空擔帶箱三具ヲ備フ					
二 本表ノ外航空勤務者身體検査用衛生材料ノ備附ニ關シテハ別ニ示ス					

五